田原地区での活動特集！

田原地区に観光トイレを設置

●平成25年４月

古事記編纂者の太安万侶が眠る奈良市田原地区には、山里博物館が点在し「おもてなしの心」が奈良市で一番であると思う。そんな田原地区に２０１０年の平城遷都１３００年に併せて天皇皇后両陛下がお越しになられました。しかし心配なのが、観光トイレが無い事でありました。そこで当時の岡井稲郎自治連合会長から観光トイレ設置の陳情を受けその後、議会で取り組み、観光トイレを完成させました。ご協力頂いた田原地区関係各位に感謝します。

田原に観光トイレを設置（岡井稲郎氏と）

竹田恒泰先生の講演を実施

◆平成24年９月

奈良市の田原地区まち創り推進協議会（会長：浦辻俊一）と奈良竹田研究会(担当：植村よしふみ)等による「古事記編纂１３００年記念講演」（後援：県・市・市教育委員会）が９月１日に、古事記編纂者の太安万侶の墓陵を有する田原小中学校体育館で（旧皇族）竹田恒泰氏に「古事記と太安万侶」と題して講演頂いた。当日は県内外より約二百人が参加され大盛況。講演で竹田先生は「古事記」を知るには天皇について知る必用がある。判りやすいのがマッカーサーノートである、ＧＨＱ最高司令官Ｄマッカーサー元帥は、僅か半年で天皇と日本人の絆を理解し、米本国に「天皇を殺してしまうと、後百万人の米兵を追加動員しても統治できない。又何百年も復習の殺し合いが続くから天皇は絶対に殺してはいけない」と進言した公式文書があると説明。故に大日本帝国憲法を改正して第１章に天皇を国民の象徴と記入する事を指示したと指摘。そして天皇とは国民の為に祈る存在であると説明された。そして古事記とは、当時の日本国政府が国内に伝わる古今の情報を調査し作成した正式な歴史書であるが、昭和54年頃迄は、多くの歴史学者達によって偽書であると言われて来た。しかし昭和54年の太安万侶の墓誌の発見によって、偽書説は立ち消えになった。正に世紀の大発見であり、発見者の故竹西英夫さん（94才）に、日本の歴史が証明された瞬間であったと感謝の言葉を述べられました。そして太安万侶の眠る田原地区は「日本の歴史が証明された地」であると絶賛されました。終

田原小学校　IN　竹田恒泰　H24’9’1

太安万侶墓誌を国宝に！

◆平成26年５月23日

古事記の編纂者である太安万侶の墓誌（重要文化財）を国宝にするべく文科省に陳情に行きました。なんとか２０２０年東京オリンピック迄に、国宝の認定を受け世界中からの大勢の観光客に、日本の歴史を残した田原地区へ来て頂きたいと取り組んでいます。

米国女性写真家テリーさんが田原地区を撮影

◆平成27年６月入江泰吉奈良市写真美術館で、９月５日～米国女性写真家・テリワイフェンバックさんと日本が誇るＮＡＯＫＩ氏による奈良をテーマにした撮り下ろし写真展が開催されるのに地元議員の植村も支援をしました。テリさんを自然豊かな農村地域でもある田原地区が気に入り撮影を希望されましたので、岡井稲郎氏と松本連合会長に撮影にご協力を頂きました。世界的なプロ写真家に田原地区を撮影して頂き、世界に日本の奈良市田原地区をＰＲして行きたいと思います。

米写真家テリ氏が松本家住宅を撮影　H26’6’

奈良市清酒で乾杯条例を制定！

●平成25年12月３日制定

奈良市の酒造組合の蔵元５社様より自民党奈良市議団幹事長植村佳史宛てに、日本酒の消費が全国的に低迷する中で、奈良市（正暦寺）は「日本清酒発祥之地」であり、伝統産業として日本酒で乾杯する習慣を広めて欲しいとの要望を頂いた。調査するとＳ40年代に比べ生産量が（約１／４）に減少。そこで地域の伝統文化継承と地域経済活性化を目指し日本清酒発祥之地「奈良市清酒で乾杯」条例を植村が議員提案し制定しました。田原地区にも以前は酒蔵がありましたが、廃業となりました。なんとか復活ができればと思っています。

奈良市清酒発祥の地清酒で乾杯条例